

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	07	01	03	174360	観光ルート整備事業費			
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興			
	施策	03	移動しやすい観光地					
目的	観光客の利便性向上のため、二次交通の充実と市内回遊性を高める事業に対し支援を行う。							
対象	観光客							
意図	温泉地や観光地へ向かう観光客の交通手段を確保し、利便性の向上を図る。							
事業概要	<p>○花巻温泉郷共同送迎バス運行支援 9,100千円 花巻温泉郷が共同運行する、JR新花巻駅～各温泉施設の無料送迎バスの運行支援</p> <p>○観光客の二次交通運行支援 4,200千円 花巻温泉郷、宮沢賢治記念館等の主要観光地とJR新花巻駅、花巻駅をレトロジャンボタクシーで結ぶ「どんぐり号」「やまねこ号」の運行支援</p> <p>○団体旅行貸切バスツアー運行支援 7,470千円 貸切バスを利用する市外及び海外からの団体ツアーに対し、バス1台あたり30,000円を補助</p>							
市民参画の有無								
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05		
1	どんぐり号、やまねこ号運行日数（年度）	日	計画	300.00	300.00			
			実績	135.00	235.00			
2			計画					
			実績					
3			計画					
			実績					
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05		
1	観光環状バス等の利用者数	万人	目標	5.60	4.80			
			実績	1.70	5.10			
2	団体旅行貸切バスツアー運行支援を受ける貸切バス台数	台	目標	500.00	390.00			
			実績	297.00	249.00			
3			目標					
			実績					
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/>	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
政府の方針が、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立に転換したことにより、個人旅行客が増加したため環状バス利用者数が目標を上回った。一方、団体貸切バスツアー運行支援を受けた貸切バスの台数が前年度を下回ったのは、コロナにより岩手を目的地に変更した教育旅行が、従来の目的地に戻り始めてきたことによるもの。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	バス路線等の二次交通が充実していない現状においては、観光客の利便性向上のため支援を行う必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	観光客のニーズに合わせツアーのコース設定等を随時見直すことで、集客を高めることができる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業内容を随時見直しする中で、関係者からの意見等も踏まえながら事業費や人件費を精査しており、いずれも削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	観光振興は観光客・観光事業者はもちろん、宿泊・交通・物産・飲食事業者等、受益者は多岐にわたる。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	今年度の振り返り 花巻温泉郷への無料送迎バスの運行支援や「どんぐり・やまねこ号」による観光地を巡るツアーへの支援により、観光客の利便性を向上することができた。また、団体バスツアー支援については、利用実績の約6割を教育旅行が占めていたことから、教育旅行の誘致にも寄与した。
	次年度に向けて	
	二次交通の充実と市内回遊性を高めることは、温泉地や観光地へ向かう観光客の利便性が向上され、満足度向上やリピーター確保につながることが期待されることから、関係機関と一体となって、より魅力的なコース設定の見直しに取り組む。	

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174390	観光案内板整備事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	03	移動しやすい観光地			
目的	観光客の利便性向上のため、観光案内板の新設・更新等を進める。					
対象	観光客					
意図	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすいような環境を整備する					
事業概要	<input type="checkbox"/> 標識、案内板の整備 4,947千円 <input type="checkbox"/> 観光案内板等台帳管理システム利用料 423千円					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	案内板の撤去、変更、新設	件	計画	0.00	9.00	
			実績	0.00	19.00	
2	案内板の現地調査及び台帳整備	箇所	計画	250.00	0.00	
			実績	250.00	0.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	案内板表示に満足した観光客の割合【観光客アンケート】	%	目標	90.00	91.00	
			実績	90.90	91.70	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
花巻市へ訪れる観光客のうち7割前後が自動車による来訪であることから、案内看板を維持・管理及び充実させることで、観光地までの移動をスムーズに促し、満足度を向上させることができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備することは、観光立市の実現を目指す市の責務である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	観光客がスムーズに移動できる環境は時間的余裕を創出し、市内の回遊性向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業が進めば削減の可能性があるが、現状では多くの案内板の整備が必要であり、事業費や人件費の削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備することは、更なる交流人口の拡大が期待でき市全体に受益を及ぼす。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	昨年度、台帳整備を行ったことにより、今年度は効率的に目標値より多くの案内板を修繕・撤去することができた。
	次年度に向けて	台帳に基づいて、順次市内の案内板を整備していく。